

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2019. 12. 26 NO. 264

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



日本共産党杉並区議団 地球温暖化対策で区に提言 明確な目標と抜本的対策を



環境部長に「提言」を手渡しました。

日本共産党杉並区議団は、12月25日、2019年最後の取り組みとして、田中区长に対し「地球温暖化対策抜本的強化への提言」を提出しました。

「提言」は、地球温暖化が人類の死活に係る問題であり、豪雨や巨大台風の増加が「私たちの命と安全を脅かす事態となっている」ことを指摘し、抜本的な対策の強化を提案しています。

遅れている杉並区の目標と計画
気温上昇を1.5度に抑制の立場から
CO2削減目標、部門別目標を明確に

「提言」は、区の二酸化炭素(CO2)削減目標が不明確で、達成のための家庭、業務、輸送などの「部門別目標」もないなど、他区と比べて遅れていることを批判。「パリ協定」にもとづき、気温上昇を1.5度に抑えるようCO2削減目標を持つこと、そのための部門別目標を明確にすることを提案しています。

東京の年平均気温の変化

年	年平均気温
1876年	13.6度
1946年	14.9度
1964年	15.3度
2018年	16.8度

気象庁ホームページより

独自条例の制定と「宣言」を提案

さらに「提言」では、対策を進めるために、中野区などで制定している温暖化対策推進条例の制定や、気候非常事態宣言を行うことを提案しています。(「提言」の詳細は、区議団ホームページでご覧いただけます)

- ①**家庭部門**—太陽光発電や省エネ機器設置への助成の拡大・強化。マンションへのコンサルの派遣、共用部分への支援。
- ②**業務部門**—大規模小売店等にCO2削減、省エネ計画の策定を求める。商店、商店会に省エネ促進への支援、冷蔵庫などの設置への支援。
- ③**輸送部門**—輸送事業者にCO2削減計画の策定、低公害車への切り替え、運転改善を求める。コミュニティバス路線の新設など公共交通の拡充。
- ④**緑と樹木**—CO2を吸収する樹木の保全と拡大をはかる。伐採にストップをかける。
- ⑤**再生可能エネルギー**—区立施設、事業所、家庭への太陽光発電設置促進。交流自治体と連携したバイオマス発電の確保、森林の育成をはかる。

家庭でのエネルギー消費削減の取組効果事例(年間)

取組み	CO2削減量	節約
エアコン冷房1日1時間節約	11.0kg	510円
ホットカーペット強→中(3畳)	109.2kg	5,020円
白熱電球のLED化	52.8kg	2,430円
冷蔵庫の設定温度 強→中	36.2kg	1,670円

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

区民サービスを削減しながら

区長・議員等の給与・報酬は引き上げ

■給与・報酬の引き上げ額の詳細

給与及び議員報酬の引き下げと期末手当の引き上げにより、各特別職の年額は以下のように引き上げとなります。

- ・区長 : 約13万6000円
- ・副区長 : 約10万8000円
- ・教育長 : 約9万3000円
- ・監査委員 : 約8万3000円
- ・区議会議員 : 約6万7000円

さらに、給与・報酬の引き上げが提案された第4回定例会では児童館5館の廃止等、住民サービスの削減も賛成多数で可決・強行されています。住民生活に負担を押し付ける一方、区長初め、区議会議員等の給与・報酬を引き上げるとは到底許されず、区民の理解を得られないものではありません。住民生活と乖離した杉並区議会の責任が厳しく問われます。

杉並区議会第4回定例会では、区長や区議会議員の給与等の引き上げ条例が提案され、日本共産党区議団とのち・平和、一部少数会派議員を除く、賛成多数で可決されました。

提案では、区長、副区長、教育長、区議会議員など特別職の給与・報酬は0.6%に引き下げるものの、期末手当の支給月数を0.15月引き上げることに引き上げとされるもの（引き上げの詳細は左記）。

国政でのアベノミクスの悪影響や消費税の10%への増税などにより、国民生活は厳しい状況が続いています。また、杉並区では今年度も国民健康保険料の値上げが行なわれました。4人世帯の国保料は9年間で2倍以上に引き上げられています。

■区長、議員等の給与・報酬の引上げ議案への各会派の賛否

会派	自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無	美杉	革新
議案77号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×

区長・議会の姿勢が問われる

令和元年度 区胃がん検診 胃内視鏡検査（胃カメラ）は中止

杉並区では、胃がん検診の実施体制や精度管理の見直しを検討してきましたが「胃内視鏡検査」については、今年度の実施を中止することが決まりました。

「胃部エックス線検査」は実施中ですので受診をご検討ください。来年度以降、安全で質の高い検診が実施されるよう求めます。

（経緯と理由）

昨年、区内医療機関が区肺がん検診において肺がんの疑いを見落としたことにより、受診者の方が亡くなりました。この間、健診（検診）の実施体制や精度管理について見直しを検討し、今年7月、胃内視鏡検査を除く区民健診・がん検診については改善の上、再開されています。

一方、胃内視鏡検査については、なお課題があり、胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会を立ち上げ、再開に向けた検討を続けてきました。同審議会の答申では、検診実施医療機関と2度目の読影を行う医療機関を分けることとしましたが、医療機関間での画像情報等を送受信するシステム構築に時間を要するため、今年度の胃内視鏡検査を中止することになりました。

いのちとくらしを守る政治へ 2020年も頑張ります！



みなさんのご支援で、2019年も元気に活動することができました。

消費税増税や桜を見る会にみられる税金の私物化問題など、政治が本当にひどすぎます。みなさんと力をあわせ、いのちとくらし最優先の政治への転換めざし、2020年も全力を尽くす決意です。